

抑々藤原の大織冠鎌公の嫡孫正二位贈大政大臣藤原の  
 武智磨公の古居住地ヨリハ丁有御溝村栄山寺に住セラ  
 り此寺に今堂宇僧坊存セリ就中全堂本尊薬師  
 如来ハ武智磨公の建立ニシテ八角堂に垂鐘垂シテ起立シ  
 タル天平宝字の二年ニテ武智磨公の長男横佩右大臣  
 豊成公の造営ナリ尚麻守持法尼當寺境内小野邊風  
 粟筆の銘ヲ刻ミシ林尾掃々往古山城國深草の道邊  
 寺の鐘タレ丁ヲ普ク垂人の知ル処ニシテ由縁アリテ尚栄山寺  
 傳來ス方今猶歷然ト存在ニシテ皇國比類の鐘ヲ嘆ク  
 尖重トシラベキナリ此栄山寺の前塚スルハ吉野川の下  
 流イカサ大水出ルを浪タスル面靜ナレハ垂人名ヲ  
 吉野無川トシヨ是ヨリ高野山林蕉の學文路村追舟の出  
 処ナリ兩岸の奇絶頗敬贊四悔の法君絶景の地ヲ探  
 筆遂ニ着目シ給ハ茲先生携筆並携法帖全寺  
 若テ譲授シ且ツ宝物等モ因見備衰チ力カス我カ家  
 の祖先ハ茲の武智磨公ニ法授スル石物換身移リテ  
 農ノ業ニシテ客縁營業ヲ勤ム居号ヲ笠屋トシ依テ  
 茲寺ヲ誘引セト欲シテ爰告示スレ丁甫リ

高野山ヨリ七里手前

大和國宇野三左驛

御定病

笠屋源兵衛

